

# 青春ing



## 勝山に就職できた喜び

石橋 歩 実さん(20) 栄町3

一旦は福井市で就職活動をしていた石橋さんは、自宅通勤を優先第一に考え、できれば勝山で就職をしたいと考えていたそうです。先生からの薦めもあって、市内の繊維会社で面接を受けて見事に地元就職を果たすことができた。本当に良かったと今の気持ちを伝えてくれました。

「勝山は、人が優しく、空気がおいしく自然に恵まれているので、住んでいて気持ちが落ち着くから大好きで

す」と、はっきりと断言する石橋さんの趣味は、音楽鑑賞とスノーボード。「新入社員になってまだ日が経たないため、仕事を覚えることで精一杯ですが、職場の上司やまわりの人達が、親切に仕事のことを教えてくれるので、これからも明るく、積極的に働きたい」との抱負を語る石橋さんは笑顔がとてもまぶしく、爽やかな印象を与える社会人一年生です。

# 出会いふれあい

## がんばれ！なでしこ勝山！

### 女子サッカーチーム「ビィフママリ」

市内で唯一の女子サッカーチーム『ビィフママリ』。市内のサッカーズポーツ少年団「ビィフ勝山」のお母さんたちが、「自分たちも試合をしたい」という思いから結成されたチームで、今年で3年目を迎えます。

5月に開催される県の大会には、5人制の試合に「チャマゴンチーム」、「チャマリチーム」の名前で2チ

ム出場するそうで、そこでのいい成績を上げることが当面の目標。週1回の練習にも熱が入ります。

チームの監督を務める幅田信一さん(郡町2)は、「結成された時と比べれば技術や試合を見る目が格段に上がりました」と、これからの楽しみな様子。主婦中心のチームということもあって、練習時間の調整が難しいというこ

とですが、年齢や体力に応じてサッカーを楽しむ雰囲気づくりを大切にしているそうです。

「夢はロングシュートをバツチり決めることです」と、熱く語る島田恵子さん(栄町3)のポジションは、センターフォワード。家族の協力あって試合に出られることにとても感謝しているそうです。

監督の幅田さんは、「もっとたくさんのかたにサッカーの楽しみを知ってほしい」と、新メンバーの加入を待ち望んでおられました。

『ビィフママリ』では新メンバーを募集しています。年齢は問いません。問い合わせ先

斎藤さん(職場：871-0537)



## 匠の技を生かしたい

前田 利蔵さん(66) 本町4丁目

児童の交通安全を願い、拍子木のミニチュアを形取った「交通安全お守り」250個をこの春、市内の新1年生に寄付された前田利蔵さん。「去年、孫のために作った物と同じものですが、みなさんにも付けてもらえればうれしいです」と、目を細めて話す前田さん。実の孫もよその子も、勝山の大切な宝物。登下校には車などに十分気をつけてほしいという願いから一つひとつ丁寧に手作りされたそうです。

前田さんは、この道40年のベテランの木工さんということもあって、作業はお手のものですが、やはり大量に造るとなると苦勞も多かったそうです。

しかし、前田さんは「夜遅くまでなることもあって大変だったけど、とても楽しい時間を過ごさせてもらいました」と、満足げに話されます。また、前田さんは、昨年から市民活動センター周辺で行われている「かつやま土曜夕市」で、左義長の三味線ミニチュアや手作り鳴子などの民芸品コーナーを出店されており、今年も土曜夕市オープンに向け、趣向を凝らした新しい民芸品をすでに準備中とのこと。

「民芸品造りは、元気な限り続けていきたいね」と、笑顔を浮かべられていました。

## すてきに人生



## 仲間 GROUP



## がんばれ元気



## 大賞!? ヤッター!!

佐々木 俊輔さん(8) 芳野2

左義長まつりの絵画・写真展絵画部門で見事大賞を受賞された佐々木俊輔さん。2人兄弟のお兄ちゃんらしく、元気にはきはきと取材の質問に答えてくれました。

受賞した絵は、佐々木さん自身が芳野の櫓にあって太鼓を叩いているところを、楽しく描こうと思ったそうです。大賞を受賞したことは、大野市のおばあちゃんから電話で連絡を受けて知ったそうで、聞いたときは本当にびっくりしたとのこと。

学校では、図画工作はもちろんのこと体育や算数も好きという石橋さんは、「将来は野球選手になりたいので、日頃おじいちゃんとキャッチボールをするのが楽しみです」と、笑顔で元気良く返事してくれました。